



・ゲームセンターで、コインゲームをしている小学生と思われる男子児童2名に、「こんには。青少年センターの者だけど、ゲーム楽しい? お金使い過ぎないようにね。」と声かけました。

・公園の噴水内に入っている、高校生と思われる女子生徒3名に、「暑いね。青少年センターの者だけど、気持ちいいでしょう。でも噴水はプールではないのでそろそろ出ようね。」と声かけました。

・川岸で川の中に足を入れている高校生と思われる男子生徒2名及び女子生徒2名に、「青少年センターの者だけど、今日は暑いから川の中に足を入れていると涼しくて気持ちがいいね。でも、川の流れで流されてしまうと大変だから、そこから先に行かないようにしてくださいね。」と声かけました。

・ゲームセンターで、中学生が自分のバッグを背中側の床に置いてゲームをしていたので、「盗まれたら困るから、自分の前側に置いたほうがいいよ。」と声かけました。

・自転車2人乗りの高校生風男子に危ないからやめるように声かけました。

※岩見沢市では小中学校のPTA役員が環境浄化モニターとして日頃からパトロール活動を行っています。

- ・岩見沢青少年センター所長 河原さん
- ・佐々木さん、藤野さん
- ・実際の声かけ事例と中学生や保護者の方々への要望についてお伺いしました。

★「自己指導能力」を身につけよう!
*自己指導能力とは… 思考停止に陥ることなく、想像力を働かせ、自分で考え、自分や周りにとって責任をとれる行動を導き出す力。

★「危ないかも」と感じる力、「危ない!」と離れる力。
周りに流されず、自分の身を守るために意識した行動を心がけよう!

【中学生の皆さんへ】
ルールを破ることは、格好いいことではありません。
自分の身は自分で守る!をモットーに。
自分のために自分を大切に思ってくれる人のために、よく考えて責任ある行動を。



★「考える力」を育てよう!
犯罪者は見た目で判断できず、会ったことのない人でも子どもの信頼を得ようと言葉巧みに近づきます。

★子どもの行動を把握できるように
・何気ない話に耳を傾ける。
・目と目を合わせた会話によるコミュニケーション。
・インターネット機器にはフィルタリングを設定する。
・自身が身を守る方法を知り、身につけられるように伝えていく。

【保護者の皆さんへ】
些細な変化の先には、子どものSOSが隠れているかもしれません。
普段から家族間で情報を共有し、困ったら専門機関などに相談しましょう。

町内会

- ・町内会での取り組みについてお伺いしました。

町内会では、交通安全の見守りを毎年おこなっています。回覧板で子どもたちの登下校を見守るために登下校の時間に合わせて犬の散歩や外仕事などの協力を呼び掛けています。突然声をかけられて驚き、不審者と間違えて通報される事例も出ています。

ご家庭、学校だけでなく、地域一体となって、子どもたちが安心して生活できるよう取り組む事はとても大切な事だと思います。地域の人とのコミュニケーションが少なくなった今、安全な事、危険な事の正しい判断ができる力を身につけましょう。



他にも…

お店の利用の仕方、自転車の乗り方・停め方などルールを守らず自分勝手な利用をする人が増えているようです。
今一度、ご家庭でもルールやマナーについて再確認してみてはいかがでしょうか。何気ない一日が事件や事故に巻き込まれ悲劇に変わらないよう、改めて自分の行動を振り返りましょう。



【中学生のみなさん】

中学校生活の3年間はあっという間です。高校生になれば、楽しい事、自由にできる事が増えてきますが、同時に責任も必要になっていきます。これからは保護者や先生に頼るばかりではなく、おかしいな?と思ったら自分から声をかける、自らの行動を振り返るなど安心安全を心掛けながら、1日1日を大切に楽しく過ごていきましょう。



お忙しい中、今回の取材に関してご協力いただきました皆様に心から御礼申し上げます。本当にありがとうございました。



あなたは大丈夫ですか?

子どもたちが

安全に生活するために

新型コロナウイルスの感染症法上の扱いも5類になり、外出する機会も増えてきたかと思いますが、あなたがとっているその行動…本当に大丈夫ですか?
いつも危険は隣り合わせです。私たちは様々な危険から身を守るために、どの様に行動すれば良いのでしょうか?

今回はアドバイザーとして岩見沢警察署生活安全課少年係の古屋さん、岩見沢青少年センター所長の河原さん、佐々木さん、藤野さん、緑中学校柏倉先生にご協力頂き、子どもたちの安全のために何をすべきなのか、具体的な事案について考えていきたいと思います。

・窃盗被害(自転車盗難)

商業施設や駅などの公共機関に、無施錠で駐車している自転車が盗まれる被害が発生しています。

★対策★

自転車に備え付けられている鍵の他に、ワイヤー錠やU字型錠などの複数の鍵を使用して施錠する『ツーロック』を推奨しています。

※自転車盗難防止に推奨されているツーロックですが、市内では義務化されている学校もあります。



- ・岩見沢警察署 生活安全課少年係 古屋さん

- ・実際に発生している事件と対策についてお伺いしました。

・福祉犯罪被害(淫行・児童ポルノ被害)

出会い系やSNS・オンラインゲームなどを通じて、怪しい人が優しい言葉をかけてたり、困りごとを助けるふりをして子どもに近づき、徐々に子どもの信頼を得た上で会う約束をして性被害に遭った事案や、SNSで子どもが裸に近い画像等を知らない相手に送ってしまう事案などが発生しています。

★対策★

インターネットやSNSなどを通じた犯罪から子どもを守るために、保護者の皆さんには、お子さんのスマートフォンや携帯電話に『フィルタリング設定』をしていただきたいと思います。インターネットで被害に遭うほとんどの子どもは、このフィルタリング設定をしていないことが多いと判明しています。

※ネット犯罪から子どもを守るためにも今一度家族でルールを作って家族間で情報を共有することが大切です。



・川遊び

幾春別川での「魚釣り」が子供たちの間でブームになった時期がありました。川にスマホを落として川に入って取ろうとした生徒、遊びで釣った魚を焼いて食べたけど、しっかり加熱されていなかった為なのか腹痛になった生徒などの事例がありました。

コロナの制限が緩和され、子どもたちが外で遊ぶようになったことは喜ばしい事なのですが、それと同時に自分の身を自分で守る指導の必要性も常々感じているところです。



- ・岩見沢市立緑中学校 柏倉先生

- ・緑中学校で実際に起こった事例についてお伺いしました。

・公園の使い方

公園での遊び方でいうと、スケボーも中3男子の間では流行っていたようです。中2男子は公園で通信ゲームをしているなど遊び方も時代とともに変わっています。

・地域の方から自転車の逆走が多いという情報を伺いました。その都度学校でも指導しました。

・今年は猛暑で、学校でも熱中症対策をしてきました。

しかし、気温が30℃を超える日もジャージを脱がない「厚着の生徒」が多く私たちも再三、熱中症にならないよう「命を守る服装」について呼びかけ・指導をしてきました。しかし、年頃なのかなかなか指導が通らず大変でした。猛暑時に適した服装、季節に合わない服装によってどのようなリスクがあるか命を守る服装の大切さなどご家庭でも話題にしてもらえると助かります。





PTAワックスかけ活動 ～学校ピカピカ大作戦～

(7月25日) 初の夜に行われたワッカスがけ活動。参加予定の7名に加え、飛び入り参加の保護者と先生方も交え、大変ながらも楽しい清掃活動が繰り広げられました。

今年は、3階の廊下と特に汚れのひどかった3階トイレ前。数年前から一番手入れが必要だった箇所でした。まずは床の汚れを取り除く作業から、のスタートでしたが、ボリッシャーに悪戦苦闘!? 初心者にとつてはハーモードでしたが、一生懸命磨き上げました。



PTA活動の 「承継」について

3年に及ぶ新型コロナウイルスの猛威に、よつて、すっかり活動が停滞してしまった本校のPTA活動ですが、おかげさまで感染症法上の位置づけが変わった事により、PTA活動も從来の熱意を取り戻しつつあります。

騒し、きちんと内容を把握してしまったが、なぜかわからないことだ。その行為で、改めて活動を再開しようと思ったのも、事業内容や活動についての記録は残されているけれども、実際に具体的なやり方や方法を熟知している保護者の方が居ない為、僅かに残っ



給食試食会 デジタル・シチズン シップ講習会



後半は協力プレイが功を奏して作業は順調に進み、予定していた箇所がピカピカになりました。



デジタル・シチズンシップとは?



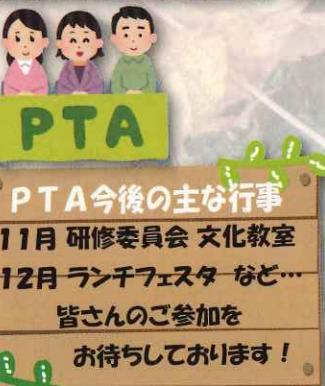
〔7月1日〕 参観日のこの日、お昼時に給食試食会、参観終了後体育館で講演会が行われました。試食会は約10名が参加し、保護者の皆さんには子どもたちが毎日食べている給食を試食しながら、給食の内容や提供方法などについて積極的に情報交換していました。



★岩見沢市
〔7月22日〕
まよみー

（7月22日）
まなみーるにて岩見沢市PTA連合研究大会が開かれました。今年度は宮本延春さんを講師にお招きし、テーマ「オール1の落ちこぼれ、教師になる。」子どもの自己肯定感を育むには」と題して、教職員と保護者の方々にお話されました。
宮本さんは、自身の壮絶な体験から得た知識と洞察をもとに、いじめ、自殺未遂、親との死別などの困難に立ち向かつた経験について語られました。そしてこれらの経験から、大切な人々との出会いや、子どもたちの自己肯定感を育むための貴重なヒントを提供してくださいました。「できない子どもはいません。ダメな子どもなんて1人もいません」という強力なメッセージで、「子育てをする保護者や教員の方々に深く響きました。

宮本さんの言葉は、子どもたちの可能性を信じそれを広げるための方策を見つける助けとなりました。



PTA今後の主な行事
11月 研修委員会 文化教室
12月 ランチフェスタなど
皆さんのご参加を
お待ちしております！

天内
磯野
奈央
美香
岩松
美由紀
金田
貴彦
日時
和子

天内 奈央
磯野 美香
岩松美由紀
金田 貴彦

安藤 純子
出田 真由美
小川 愛
藤井 真由美

広報めどり108号、いかがでしたでしようか。これまで続いていた様々な企画ムードが一気に解除され、本来あるべき学校の姿に戻りました。また子つもつあると感じます。また子どもたちの活き活きとした表情を見ていると、保護者としても、とても嬉しく感じます。PTA活動に関しましても、P.T.A活動で皆様のご協力を頂く形で陰様で皆様のご協力を頂く形であり、従来の活動の取り戻しへつながり、広報紙の紙面も暖かさとボリュームが復活しきれいに掲載したい事が紙面に載せきれない溢れてしまつて、悲鳴が起きています。ということで、次号も内容盛り沢山でお送りしたいと思いますので、お楽しみに!



★岩見沢市青少年健全育成
環境净化モニター研修会
8月28日

いわなびにて環境浄化モニター研修会が開かれました。今回は、岩見沢あかり家部長玉田寿充さんを講師にお招きし、テーマ「個性のさらなる個性で自立を考える」と題して様々な障害を持つ人に合わせた自立のサポートについてお話をされました。

近年、身体障害者だけでなく、発達障害を持つ人や精神障害を持つ人など、声かけをして、その人が気持ちよく働き自分の力で生活できるようにサポートするかが大切だというお話を聞いて、人を外見等で決めつけるのではなく、しっかりとその人と向き合う大切さを学びました。

★岩見沢市青少
環境净化モー